

2015. 3. 27

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2014年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2014 年年間回顧)

2014 年のわが国の景気は、消費税引き上げ前の駆け込み需要により堅調に始まったものの、引き上げ後はその反動減で新規住宅着工の落ち込み、個人消費の停滞などで GDP が 2 四半期連続マイナス成長となった。年末にかけては円安の一段の進行を背景に輸出が盛り返し、緩やかな回復基調を辿った。

化繊景況は、テキスタイル、紙おむつ製品、エアバッグなどの輸出が好調だったが、衣料、産業資材ともに国内向けが盛り上がり欠けたため化繊生産は前年比 0.4% の微減となり、3 年連続 100 万トンを割り込んだ。

国 内

- 1) 衣料用は、国内向けが低調であったが、円安の定着を背景に欧米向けスポーツ・アウトドア用などテキスタイルの輸出が堅調に推移し、北陸産地の機業場やニッターの稼働状況はタイトであった。ユニフォーム・ワーキング用は在庫調整が進み一部で備蓄生産が始まった。保温肌着向けは需要一巡からリピート需要が中心となり伸び悩んだ。インテリア用は、カーテン向けが年初盛り上がったが、4 月からの消費税引き上げ後は不振だった。衛材用は、紙おむつなどの衛材用途が日本製品に対する信頼感が厚く好調に推移した。産業資材用は、エアバッグ用の輸出好調が続いたが、タイヤコード用は前年の同用途向け最大手合繊メーカーの撤退の影響が大きく、織物、原糸の海外調達で国内需要の大半を占めるようになった。シートベルトや自動車用ゴム資材は順調だったが、カーシートは年央以降、低調だった。建築・土木用は人手不足、入札の不成立、住宅着工件数の減少で期待した荷動きには及ばなかった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）1.0%減、化繊 0.9%減、紡績 0.4%増。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が 4.2%増、化繊 9.5%増、紡績 4.4%減となった。（2010 年=100、生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 87.8 億ドル・前年比（以下同じ）1.2%減、一方円ベースでは 9,285 億円・6.9%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料 17.1 億ドル・1.6%増、糸類 12.0 億ドル・0.1%減、織物類 26.5 億ドル・5.1%減、二次製品他 32.2 億ドル・0.3%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の 32.6%を占める中国が 8.7%減の 28.6 億ドル、香港（5.9%減）、韓国（10.6%増）、台湾（3.7%減）、アセアン地域は、ベトナム（3.1%増）、タイ（0.9%増）、インドネシア（6.0%増）、マレーシア（7.3%増）となり、それ以外では米州（8.7%増）、西アジア（9.9%減）、欧州（2.3%増）であった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで402.8億ドル・前年比(以下同じ)5.5%減、一方円ベースは4兆2,620億円・2.4%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料6.6億ドル・3.3%減、糸類13.9億ドル・4.6%増、織物14.9億ドル・1.7%増、二次製品他367.4億ドル・6.2%減。仕出地別では、全体の66.7%を占める中国が10.5%減の268.7億ドル、韓国(7.7%減)、台湾(1.7%増)、アセアン地域は、ベトナム(12.8%増)、インドネシア(3.7%増)、タイ(5.9%増)、マレーシア(5.9%増)、それ以外では、イタリア(5.1%減)、米国(3.0%減)となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2012年	2013年	2014年	2013年比(%)	2012年比(%)
輸出	千ドル	9,886,638	8,884,257	8,776,219	-1.2	-11.2
計	百万円	789,651	868,915	928,535	6.9	17.6
繊維原料	千ドル	1,639,634	1,681,481	1,708,950	1.6	4.2
糸類	〃	1,330,937	1,200,264	1,199,037	-0.1	-9.9
織物類	〃	3,218,075	2,795,705	2,653,051	-5.1	-17.6
二次製品他	〃	3,697,992	3,206,807	3,215,182	0.3	-13.1
輸入	千ドル	43,274,212	42,631,934	40,278,041	-5.5	-6.9
計	百万円	3,450,595	4,163,861	4,262,046	2.4	23.5
繊維原料	千ドル	699,137	687,090	664,643	-3.3	-4.9
糸類	〃	1,404,898	1,326,418	1,387,851	4.6	-1.2
織物類	〃	1,488,333	1,463,513	1,488,251	1.7	0.0
二次製品他	〃	39,681,844	39,154,913	36,737,297	-6.2	-7.4
(うち衣類)	〃	(33,622,637)	(33,253,265)	(30,802,449)	-7.4	-8.4
輸出レート	円/ドル	79.9	97.8	105.8	8.2	32.5
輸入レート	円/ドル	79.7	97.7	105.8	8.3	32.7

(出所) 財務省

5) 化繊生産は、97万5,772トン・前年比(以下同じ)0.4%減で3年連続100万トン割れとなり、うちセルロース繊維17万1,105トン・2.1%増、合繊80万4,667トン・0.9%減。期末在庫は、8万8,377トン・8.2%増、うちセルロース繊維1万4,617トン・7.2%減、合繊7万3,760トン・11.8%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は、64.9万トン・前年比(以下同じ)0.7%増。うち、繊維原料32.6万トン・1.8%減、糸類11.9万トン・2.7%増、織物類(面積ベース)6.16億㎡・0.1%増、二次製品10.4万トン・5.9%増となった。品種別では、レーヨンS26.5%減、ナイロンF13.6%増、ポリエステルF10.1%減、ポリエステルS22.6%減、アクリルS2.8%減、織物類(面積ベース)はナイロンF織物2.5%減、ポリエステルF織物0.1%増、ポリエステルS織物0.2%増であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は、154.0万トン・前年比4.1%増。繊維原料6.4

万トン・10.3%増、糸類 22.1 万トン・12.1%増、織物類（面積ベース）は 6.39 億㎡・5.5%増、二次製品 112.8 万トン・1.2%増、うち衣類 58.0 万トン・3.3%減となった。品種別では、レーヨンS 1.6%減、ナイロンFは 18.1%増、ポリエステルF 15.3%増、ポリエステルS 24.3%増、ポリエステル紡績糸 11.9%増、織物類（面積ベース）はポリエステルF 織物 13.1%増、ポリエステルS 織物 6.8%増であった。

化学繊維の主要指標

項目	単位	2012	2013	2014	2013年比(%)	2012年比(%)
化繊生産	千トン	980.2	979.7	975.8	-0.4	-0.5
セルロース	〃	168.7	167.5	171.1	2.1	1.4
合 織	〃	811.5	812.2	804.7	-0.9	-0.8
化繊在庫	〃	93.4	81.7	88.4	8.2	-5.4
セルロース	〃	14.2	15.8	14.6	-7.2	2.7
合 織	〃	79.2	65.9	73.8	11.8	-6.8
化繊輸出	千トン	629.1	643.8	648.6	0.7	3.1
	100万ドル	6,233.9	5,647.6	5,605.1	-0.8	-10.1
	億円	4,979.6	5,522.6	5,934.0	7.4	19.2
繊維原料	千トン	311.4	331.4	325.5	-1.8	4.5
糸 類	〃	115.2	116.1	119.2	2.7	3.5
織物類	百万㎡	633.8	615.6	615.9	0.1	-2.8
二次製品	千トン	97.9	97.9	103.6	5.9	5.9
化繊輸入	千トン	1,435.9	1,480.2	1,540.4	4.1	7.3
	100万ドル	20,346.2	19,900.1	18,976.8	-4.6	-6.7
	億円	16,221.6	19,462.7	20,141.1	3.5	24.2
繊維原料	千トン	51.9	58.0	64.0	10.3	23.2
糸 類	〃	197.2	197.4	221.3	12.1	12.2
織物類	百万㎡	631.3	605.8	639.0	5.5	1.2
二次製品他	千トン	1,081.6	1,113.8	1,127.6	1.2	4.2
(うち衣類)	〃	(584.3)	(599.6)	(580.0)	-3.3	-0.7

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2014年のフィラメントの生産は、13万5,733トン・前年比10.3%の減となり、4年連続前年を下回った。12月末在庫は1万1,520トン・前年同月比9.4%の減、織物生産は、4億170万㎡・前年比3.7%増と3年ぶりに前年を上回った。

衣料用は国内マーケットが盛り上がり欠けたが、円安の定着で高密度織物中心に輸出ビジネスが好調を持続。裏地は北陸産地の生産減少で海外調達品が増加。遊泳用水着向けは夏場の天候不順で店頭販売が不振に終わり低調。コンプレッション

ウェアは飽和感が強いが有カスポーツアパレル向けが堅調だった。「ヨガ」向けニット
の需要が国内・輸出用ともに好調。学校体育用は在庫調整が進み回復基調に転じた。

タイヤコード向けは激減、同織物輸入の高水準が続く中ベトナムの急増が目立ち、
加えてポリエステル強力糸の輸入も大幅増。カーシートは年央まで健闘したが、自
動車の生産が7月以降前年割れとなり失速。シートベルトおよび自動車用ゴム資材
は順調。カーテン向けは1~3月に盛り上がったあと失速した。貼付剤基布用にポリ
エステルニットの増加が続いた。

フィラメント輸出は1万7,851トシ・前年比(以下同じ)10.1%の減、香港3,464トシ
(1.2%増)、中国3,020トシ(11.6%減)、タイ2,423トシ(5.0%増)。フィラメント輸
入は12万7,174トシ・15.3%の増、台湾が5万4,120トシ(10.5%増)、タイ2万1,748
トシ(13.3%増)、中国1万8,194トシ(27.3%増)、インドネシア1万5,530トシ(14.3%
増)、韓国1万1,369トシ(9.4%増)、マレーシア4,584トシ(49.2%増)。

<ポリエステルS>

2014年のポリエステルステーブルの生産は、14万6,561トシ・前年比2.6%増と4年
ぶりに前年を上回った。12月末在庫は、1万8,714トシ・前年同月比26.2%の増、紡
績糸の生産は、1万5,240トシ・前年比1.8%減と5年連続前年を下回った。

紡績用は綿混糸でユニフォーム・ワーキング用の生機在庫が減少し、回復基調を辿
った。純糸は帆布用が年初の大雪対応で急増、中東民族衣装はサウジアラビア向け
が不振。

製綿用は羽毛製品を除き低価格化が進み、冬物寝具の生産シーズンイン後も低調。
不織布用は衛材が高価格帯の中国向け紙おむつ製品の輸出増が加速し、オレフィ
ン・不織布メーカーの中には増設の動きがあった。生活資材用はспанレース向け
が夏場商品の制汗シートの需要で堅調だったが、貼付剤基布用はポリエステルニッ
ト使いのテープ状製品の急増で苦戦。車両資材は年央まで堅調だったが、その後失
速。湿式不織布は円安の定着で輸出用の水処理関係中心に堅調に推移。中国向けで
家庭用浄水器のRO膜用の需要が出てきた。

原綿輸出は2万8,899トシ・前年比(以下同じ)22.6%減、中国7,040トシ・21.5%減、
インドネシア4,191トシ・52.8%減、米国3,820トシ・29.0%減。原綿輸入は3万3,836
トシ・24.3%の大幅増、韓国1万3,012トシ・44.6%増、中国9,824トシ・29.4%増、タ
イ4,636トシ・11.2%減。

<ナイロンF>

2014年のフィラメントの生産は、9万8,028トシ・前年比2.8%の増となり2年ぶり
に前年を上回った。12月末在庫は、9,972トシ・前年同月比6.4%増。

織物の生産は1億2,521万㎡・前年比3.8%の減と3年連続前年を下回った。

パンスト・タイツはプレーンパンストが堅調だったが、柄物の不振が続く。タイツは

「黒」中心に安定した動きで推移。婦人ボトム向けのハイテンションニットは国内向けが順調に推移、中国向け輸出も堅調。円安の定着を背景にアウトドア用を中心に景気回復が進む米国向け輸出が好調で、韓国・台湾品から商圏の取り返しが進んだ。インナー用は全般低調で推移、体型補正用ボトムも需要が一巡したあとリピート需要が乏しく低位で推移した。

タイヤコード用はキャッププライ向けが伸び悩んだが、高耐熱性ナイロン使いの航空機用タイヤ向けは堅調。エアバッグ用は基布工場が立地するタイ、フィリピン、中国、韓国への糸輸出の好調が続いた。タイルカーペット用は夏場まで堅調だったが、その後は落ち込んだ。

フィラメント輸出は4万283トンを前年比（以下同じ）13.6%の増、タイ1万4,793トン（11.2%増）、フィリピン7,158トン（23.2%増）、中国6,894トン（17.0%増）。フィラメント輸入は3万658トンを18.1%の増、台湾7,516トン（18.3%増）、米国7,174トン（75.3%増）、中国4,691トン（25.9%増）。

<アクリルS>

2014年のステープルの生産は14万783トンを前年比4.4%の減、12月末在庫は1万2,363トンを前年同月比33.1%の大幅増。

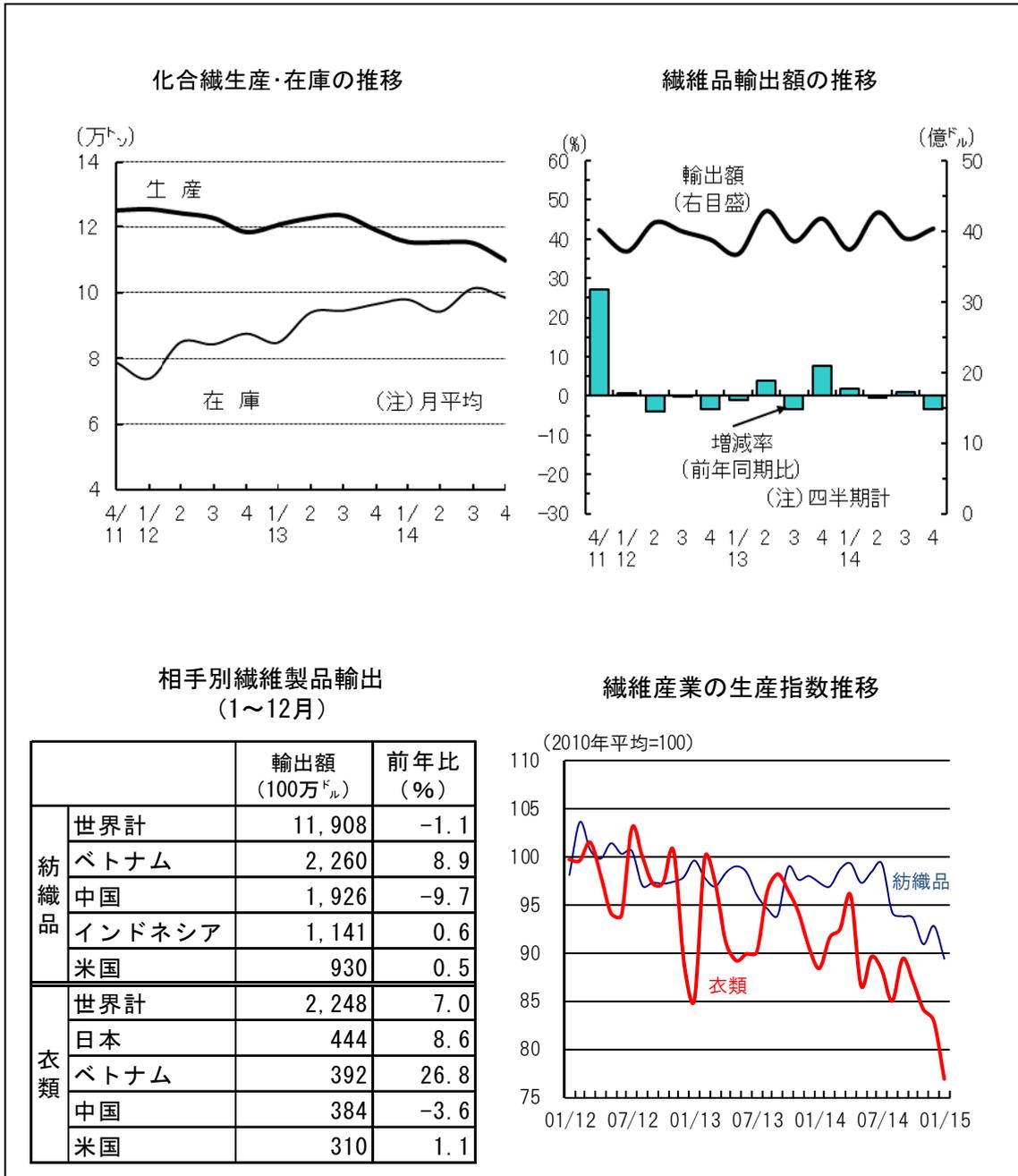
紡績糸の生産は7,790トンを前年比2.6%の減と4年連続前年を下回った。

保温肌着用は飽和感が台頭する中、リピート需要が中心となり伸び悩んだ。セーターはじり貧状況が続く、スクール関係が残る程度となった。靴下は一般量販店などでは安価なポリエステル綿混糸使いが大半を占めているが、大手SPA向けに安定した出荷が続いた。

毛布は長期凋落基調に歯止めが掛からず、ポリエステル使いの中国品が店頭販売の大半を占め百貨店ビジネスなどが少々残る程度となった。カーペット・マットも毛布と同様に不振だった。

ステープルの輸出は最大仕向地の中国が7万2,760トンを前年比（以下同じ）16.6%減、主力の中国内需向けのフェイクファー用が現地の生地・製品在庫の増加により低調。再輸出用も欧州が景気回復の遅れや暖冬の影響で、米国は中国、韓国、台湾品との競合激化で盛り上らず。セーターは「重ね着」のトレンドが世界的に進行して低調。インドネシアは1万198トンを0.6%減、紡績糸の供給基地として期待されているが、世界的なセーター離れの動きが影響し梳毛糸が不振。インドは5,164トンを38.6%増と好調、手芸糸用に安定した需要があった。

(7) 韓国



・概況

2014年は、韓国の繊維産業を取り巻く環境は厳しいものとなった。合繊生産は減産、繊維品、衣類の生産も落ち込み、繊維品輸出は微減となった。

・合繊生産

合繊生産は前年比 6.2%減の 136.7 万ト、3 年連続で前年実績を下回った。

主要合繊の生産をみると、主力のポリエステル F は 11.2%減の 65.9 万トの 2 桁減となった。ナイロン F は 10.5%減の 11.5 万ト、ポリエステル S は 1.8%増の 54.2 万ト、アクリル S は 8.6%減の 5.0 万トとなった。年末在庫は前年比 1.5%増の 9.5 万トとなった。

主要合繊の生産高

(1000 ト、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
ナイロン F	135	135	132	128	115	-10.5
ポリエステル F	747	761	763	742	659	-11.2
ポリエステル S	532	532	530	533	542	1.8
アクリル S	49	47	47	55	50	-8.6
合繊合計	1,463	1,475	1,472	1,458	1,367	-6.2

・合繊生産能力

合繊の 2014 年末設備能力は日産 4,843 トとなり、前年比で変化はなかった。

稼働率は合繊平均で 77.3%と前年より約 5 ポイント下落した。品種別には、ポリエステル S は微増、ポリエステル F は前年より 9 ポイント下落した。ナイロン F は 6 ポイント下落し、52%の低水準となった。

主要合繊の生産能力（年末値）

(日産ト)

	2010	2011	2012	2013	2014	増減
ナイロン F	536	546	595	611	611	0
ポリエステル F	2,250	2,275	2,387	2,430	2,430	0
ポリエステル S	1,690	1,690	1,637	1,622	1,622	0
アクリル S	160	160	160	180	180	0
合繊合計	4,636	4,671	4,779	4,843	4,843	0

主要合繊の稼働率

(%)

	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	合繊計
2013.1~12	57.6	83.7	90.0	83.9	82.5
2014.1~12	51.6	74.3	91.5	76.1	77.3

・輸 出

繊維品輸出は前年比 0.3%減の 159.3 億^{ドル}、2 年ぶりに前年実績を下回った。段階別にみると、繊維原料は 1.6%減の 18.1 億^{ドル}、糸類は 4.9%減の 16.3 億^{ドル}、織物類は 0.7%増の 36.5 億^{ドル}、衣類は 6.6%増の 22.3 億^{ドル}、その他二次製品は 1.3%減の 65.8 億^{ドル}となった。

仕向地別に繊維品輸出をみると、紡織品は、ベトナム向けが 8.9%増と前年に続き好調に推移、中国を超えて最大の仕向地となった。第 2 位の中国向けは 9.7%減と減少傾向が続いている。衣類は、最大の日本向けは 8.6%増、ベトナム向けは 26.8%増と好調であった。

繊維品輸出実績

(100 万^{ドル}、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
繊維原料	1,376	1,783	1,762	1,835	1,805	-1.6
糸類	1,574	1,786	1,746	1,715	1,632	-4.9
織物類	3,247	3,818	3,648	3,622	3,648	0.7
衣類	1,604	1,836	1,907	2,095	2,233	6.6
その他二次製品	6,111	6,739	6,542	6,671	6,581	-1.3
ニット生地	3,698	4,234	4,070	4,088	3,931	-3.8
繊維品合計	13,912	15,961	15,604	15,939	15,899	-0.3

・輸 入

繊維品輸入は前年比 7.3%増の 148.2 億^{ドル}となった。

段階別にみると、繊維原料は 5.7%減の 11.4 億^{ドル}、糸類は 1.8%減の 20.8 億^{ドル}、織物類は 0.8%減の 13.1 億^{ドル}と減少したが、衣類は 12.5%増の 84.8 億^{ドル}、その他二次製品は 11.1%増の 18.2 億^{ドル}とともに 2 桁増となった。

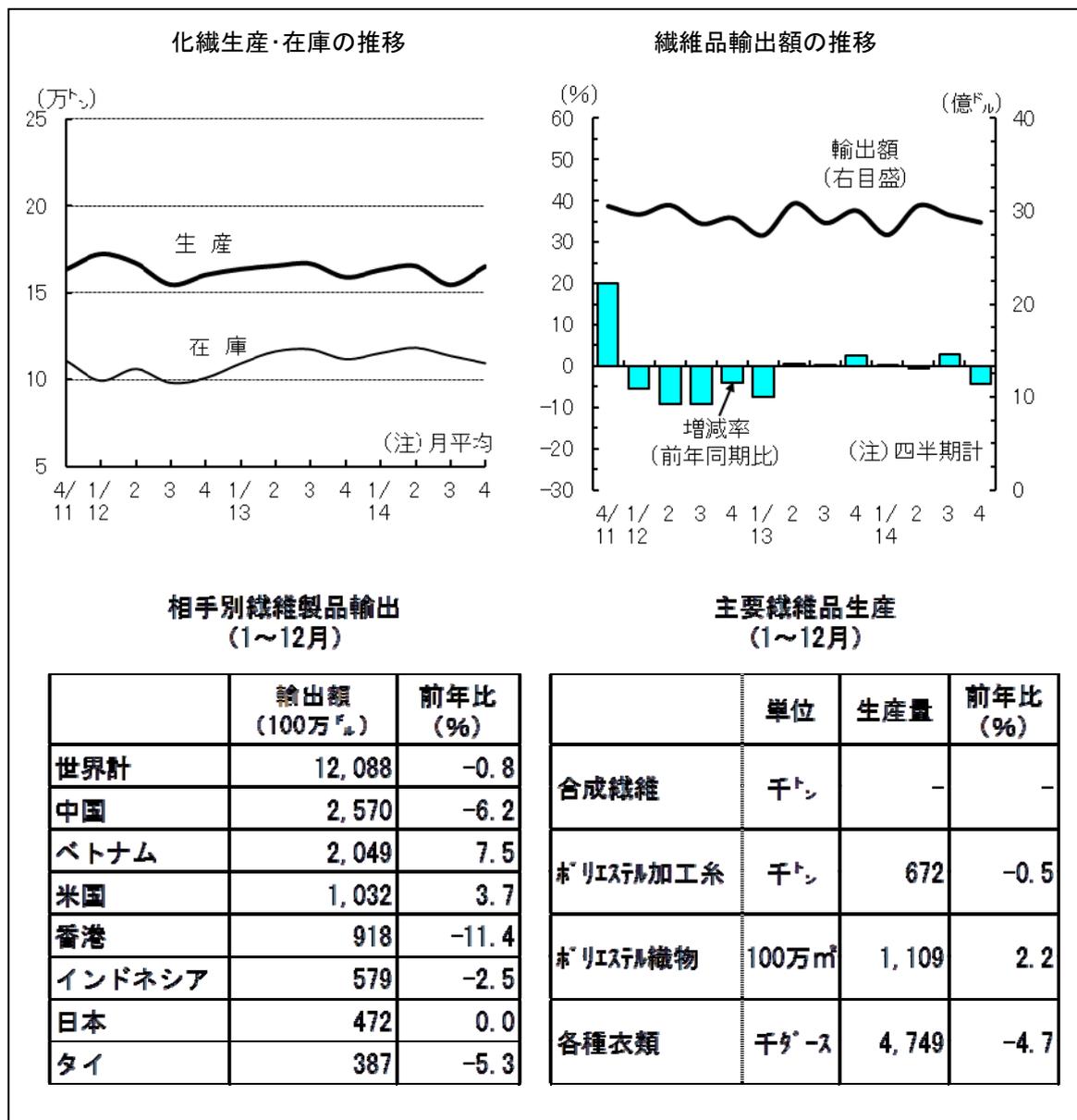
仕出地別にみると、中国からの輸入は前年比 3.6%増の 64.2 億^{ドル}、シェアは 43.3%と前年より 1.5 ポイント下落した。第 2 位のベトナムは同 20.1%増の 27.0 億^{ドル}と拡大を続けている。

繊維品輸入実績

(100 万^{ドル}、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
繊維原料	995	1,601	1,318	1,203	1,135	-5.7
糸類	2,228	2,555	1,943	2,120	2,081	-1.8
織物類	1,269	1,497	1,333	1,317	1,306	-0.8
衣類	4,456	6,116	6,273	7,541	8,484	12.5
その他二次製品	1,231	1,480	1,474	1,637	1,819	11.1
繊維品合計	10,179	13,248	12,342	13,818	14,824	7.3

(8) 台湾



・概況

2014年の台湾の繊維産業は厳しい状況であった。化合繊生産、繊維品輸出とも前年実績割れとなり、繊維産業全体の規模縮小が続いた。

・化繊生産

2014年の化合繊生産は前年比1.1%減の194.3万トンとなった。

主要品種別にみると、ナイロンFは2.5%減の30.8万トン、ポリエステルFは0.5%減の91.9万トン、ポリエステルSは1.6%減の52.9万トン、アクリルSは8.7%減の6.2万トンとなった。

主要化合繊の生産高

	(1000トン、%)					
	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
ナイロンF	358	309	319	316	308	-2.5
ポリエステルF	1,111	1,032	922	923	919	-0.5
ポリエステルS	578	536	555	538	529	-1.6
アクリルS	102	94	68	68	62	-8.7
化合繊合計	2,248	1,972	1,963	1,965	1,943	-1.1

・設 備

2014年末の主要化合繊の設備は前年末の水準と比べ243トン減の7,521トンとなった。品種別にみると、主要化合繊4品種全てで減少した。

稼働率は、化合繊全体では70.8%となった。ポリエステルSを除き上昇した。

主要化合繊の生産能力（年末値）

	(日産トン)					
	2010	2011	2012	2013	2014	増減
ナイロンF	1,745	1,745	1,348	1,393	1,311	-82
ポリエステルF	4,360	4,360	3,505	3,545	3,433	-112
ポリエステルS	1,888	1,888	2,032	2,036	2,017	-19
アクリルS	360	360	300	300	270	-30
化合繊合計	8,826	8,826	7,675	7,764	7,521	-243

主要化合繊の稼働率

	(%)				
	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	化合繊合計
2013.1～12	62.1	71.4	72.4	61.9	69.3
2014.1～12	64.4	73.3	71.9	62.9	70.8

・輸 出

繊維品輸出は前年比1.2%減の121.8億ドルと2年連続で前年実績を下回った。段階別にみると、繊維原料は2.2%減の12.6億ドル、糸類は6.6%減の19.1億ドルと減少した。織物類は1.0%増の29.4億ドル、衣類は2.7%減の8.2億ドルと減少したが、その他二次製品（ニット生地、不織布、産業資材、家庭用品等）は1.2%増の51.7億ドルとなった。

繊維品輸出を主要仕向地別にみると、第1位の中国は前年比6.2%減と減少、第2位のベトナムは7.5%増と増加基調が続いて。第3位の米国向けは3.7%増であったが、第4位の香港(11.4%減)、第5位のインドネシア(2.5%減)は減少した。

化合繊維輸出(数量ベース)は前年比0.7%増の107.7万ト、最大の仕向け先のベトナム(4.1%減の20.6万ト)、第2位の中国(3.4%減の18.7万ト)は減少したが、日本向け(8.9%増の6.7万ト)、米国向け(12.9%増の6.2万ト)は増加した。

繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
繊維原料	1,277	1,483	1,332	1,283	1,255	-2.2
糸類	2,171	2,438	2,158	2,040	1,905	-6.6
織物類	2,978	3,347	3,035	2,913	2,942	1.0
衣類	919	928	895	842	819	-2.7
その他二次製品	4,468	5,038	4,914	5,105	5,166	1.2
ニット生地	2,070	2,446	2,450	2,620	2,674	2.1
繊維品計	11,812	13,233	12,335	12,183	12,088	-0.8

・輸 入

繊維品輸入は前年比4.0%増の36.0億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は8.7%減、糸類は6.7%減と減少したが、織物輸入は11.8%増、衣類輸入は9.4%増となった。中国からの衣類輸入は、11.9%増と続伸、9.5億ドルとシェアが53%に達している。

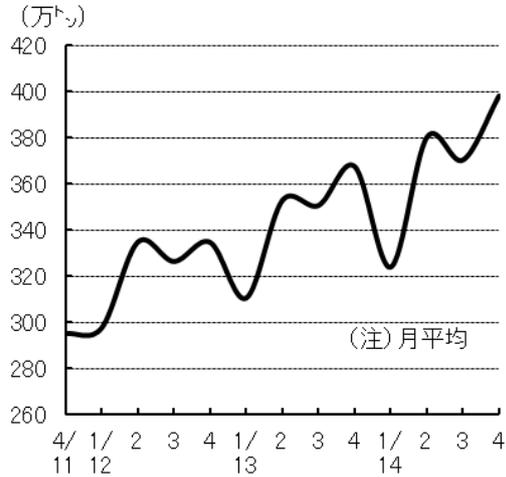
繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

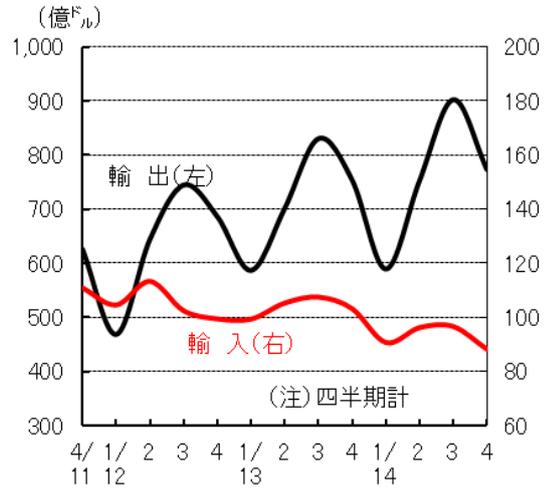
	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
繊維原料	692	901	689	670	612	-8.7
糸類	451	494	393	425	397	-6.7
織物類	236	252	227	210	235	11.8
衣類	1,185	1,515	1,628	1,596	1,746	9.4
その他二次製品	513	590	559	557	607	8.9
繊維品計	3,076	3,752	3,496	3,459	3,597	4.0

9) 中国

化繊生産の推移



繊維品貿易の推移



相手別繊維製品輸出
(1～12月)

	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)
世界計	2,985	5.1
アジア計	1,318	0.0
日本	245	-9.1
香港	165	-15.7
韓国	82	21.2
アセアン	361	5.5
EU	587	13.6
米国	447	7.5

繊維業界の主要指標
(1～12月)

	単位	指標	前年比 (%)
企業数	万社	3.8	-0.8
赤字企業数	万社	0.4	14.4
主要業務収入	億元	66,073	6.9
うち化繊産業	億元	7,212	3.5
利潤総額	億元	3,590	6.5
うち化繊産業	億元	277	11.2
繊維産業実際投資	億元	10,092	13.9
うち化繊産業	億元	1,081	3.1

(注) 繊維産業は、紡織、衣類、化繊の計

社会小売財消費総額
(1～12月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	262,394	12.0
うち繊維品等	億元	12,563	10.9

繊維関連物消費者物価指数
(1～12月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	2.0
消費者価格指数・衣類等	2.4

・概 況

2014年の中国の繊維産業は、いわゆる政府の「新常态」政策推進のもと、これまでの高い伸びから、一部の指標では鈍化がみられた。但し、全般的には堅調な業況で推移した。繊維生産、繊維品輸出はともに1桁台の伸びに減速した一方で、衣料用内需は2桁増を維持した。繊維企業の業績は、業務収入、利益とも前年実績を上回った。繊維産業および化繊産業の投資は2桁となり、化学繊維、合繊原料の一部品目では供給過剰感が表面化した。

・生産動向

主要な繊維品生産はいずれも1桁の伸び又は微減に減速した。化合繊は前年比7.8%増の4,433万ト、紡績糸は5.6%増の3,899万ト、織物は0.5%減の704億mとなった。一方、産業用繊維製品の生産は、不織布を中心に引続き好調であった。

主要繊維品の生産動向

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比(%)
化合繊 (1000ト)	30,900	33,901	38,374	41,338	44,327	7.8
合繊 (1000ト)	27,273	31,473	34,441	37,315	-	-
紡績糸 (1000ト)	27,170	27,179	29,840	36,113	38,988	5.6
織物 (億m)	800	814	849	683	704	-0.5
衣 類 (億点)	235	252	267	-	-	-

化合繊生産を品種別にみると、レーヨンは2.2%増の342万トとなった。主力のポリエステルは6.9%増の3,581万ト、ナイロンは11.8%増の237万ト、アクリルは2.5%減の68万トとなった。ポリウレタンは、主要企業の増設が続いていることで11.8%増の46万トと大幅増が続いている。

化学繊維の品種別生産動向

(1000ト、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比(%)
レーヨン	2,263	2,628	3,480	3,904	3,419	2.2
ナイロン	1,452	1,578	1,815	2,113	2,370	11.8
ポリエステル	24,257	27,928	30,570	33,406	35,810	6.9
アクリル	671	707	694	694	677	-2.5
ポリプロピレン	297	305	369	264	268	-0.6
ポリウレタン	267	264	308	390	458	11.8
化合繊合計	29,528	34,102	37,922	41,219	44,327	7.8

・輸 出

繊維品輸出は前年比5.1%増の3,017億ドル、5年連続の増加となった。段階別に

みると、繊維原料は8.9%増の34億ドル、紡織品は4.8%増の1,117億ドル、衣類等二次製品は5.2%増の1,866億ドルとなった。

化合繊輸出(数量ベース)は前年比21.5%増の328.4万トンとなった。トルコ(16.4%増の33.6万トン)、パキスタン(22.4%増の32.0万トン)、米国(16.7%増の31.6万トン)等主力仕向地は大幅増となった。

繊維品輸出を仕向地別にみると、アジア向けは横ばいであったが、EU向けは13.6%増、米国向けは7.5%増と好調に推移した。日本向けは9.1%減と減少が続いている。

繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比(%)
繊維原料	2,369	3,775	3,220	3,162	3,440	8.9
紡織品	76,889	94,420	95,459	106,590	111,681	4.8
衣類	129,773	153,781	159,619	177,450	186,624	5.2
繊維品計	209,124	251,976	258,298	287,202	301,744	5.1

・輸 入

繊維品輸入は前年比10.5%減の371.7億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は26.7%減の107億ドルの大幅減となった。紡織品は6.1%減の203億ドル、衣類等二次製品は15.0%増の62億ドルと増加した。綿花輸入は41.5%減の254万トン(金額ベースでは41.1%減)と減少した。また、前年急増した綿糸輸入は、綿花価格の内外価格差が続いたものの、新しい綿花政策の導入もあり、4.2%減と落ち着いた。

繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比(%)
繊維原料	10,370	15,793	17,650	14,650	10,743	-26.7
紡織品	17,681	18,901	19,804	21,567	20,256	-6.1
衣類	2,518	4,013	4,523	5,322	6,165	15.0
繊維品計	30,549	38,707	41,977	41,540	37,165	-10.5

合繊輸入は、ポリエステルSを除き減少した。ナイロンFは11.4%減の15.3万トン、ポリエステルFは3.9%減の11.2万トン、同Sは3.3%増の13.3万トン、アクリルSは25.3%減の15.9万トンとなった。

合繊原料輸入は、EGは2.5%増と増加したが、国内で新增設が続いたPTAは57.6%減の116万トン、CPLは50.7%減の22万トンとともに半減以下となった。PTAの輸入は2010年から5分の1以下に大幅減となり、特に韓国(同期間に310万トンから70万トン)、台湾(250万トンから7.4万トン)のPTAメーカーに深刻な影響を与えている。主要合繊輸入を仕向地別にみると、合繊4品種とも依然として日韓台からの輸入が全体の6~7割を占めている。

主要化合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

(1000 トン、%)

	2010	2011	2012	2013	2014	前年比(%)
ナイロン F	198	179	174	172	153	-11.4
ポリエステル F	173	162	126	117	112	-3.9
ポリエステル S	143	120	112	128	133	3.3
アクリル S	196	195	187	212	159	-25.3
EG	6,640	7,269	7,965	8,246	8,450	2.5
PTA	6,642	6,526	5,370	2,743	1,164	-57.6
CPL	631	633	707	453	223	-50.7

主要化合繊ファイバーの日韓台からの輸入実績

(1000 トン)

	日本	韓国	台湾	その他	合計
ナイロン F	8	12	80	53	153
ポリエステル F	6	18	52	36	112
ポリエステル S	7	72	20	34	133
アクリル S	72	16	20	50	159

10) 米 国

・概 況

2014年の米国の合繊生産は前年比0.7%減の287.3万トンとなった。主要品種のナイロン、ポリエステルはいずれも増加したが、用途によって異なる動向を示した。繊維産業の生産指数は、紡織工業（生地や染色加工など）、紡織製品（カーペットなどインテリア用途など）のいずれも1.6%上昇し、衣類も1.2%上昇したが、鉱工業全体の上昇幅である4.1%には及ばなかった。繊維製品輸入は前年比2.6%増の1,075億ドルと史上最高となった。ベトナムが2桁の大幅増となったのに対し、中国からの輸入は横ばい（0.3%増）であった。

・合繊生産

合繊生産は前年比0.7%減の287.3万トンと微減。主要品種別にみると、ナイロンFが1.0%増の57.1万トンで、主力のカーペット用が1.3%増の46.6万トン、産資用が2.0%増の7.5万トンと増加した一方、紡織用は6.4%減の3.0万トンと3年ぶりに減少した。ポリエステルFは3.2%増の63.8万トン。カーペット用が7.4%増の35.7万トンと増加した一方、産資用は14.9%減の10.1万トンと大幅に減少した。ポリエステルSは1.3%増の65.3万トン。国内向け出荷は不織布用が増加した。オレフィンFが2.9%減の85.6万トン、同Sが15.4%減の15.6万トンといずれも減少した。オレフィンFの国内向け出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが前年比0.7%減、マルチフィラメントは7.9%減であった。

主要品種別合繊生産

	(1000トン)		
	2013	2014	前年比(%)
ナイロンF	565.4	570.8	1.0
産資用	73.2	74.7	2.0
カーペット用	460.3	466.2	1.3
紡織用	31.9	29.8	-6.4
ポリエステルF	617.6	637.6	3.2
産資用	118.8	101.2	-14.9
カーペット用	332.7	357.2	7.4
紡織用	166.1	179.3	7.9
ポリエステルS	644.6	653.2	1.3
オレフィンF	881.9	856.3	-2.9
オレフィンS	184.2	155.8	-15.4
合繊計	2,893.5	2,873.7	-0.7

(出所) Fiber Review

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、生産指数が前年比 1.6%上昇した。内訳でみると生地が 2.3%、染色加工が 0.4%の上昇となった（糸・縫糸は未発表）。

紡織製品の生産指数も 1.6%上昇したが、好調であったインテリア製品は、カーペット用等が 1.2%減少したことから全体では横ばい。一方で、その他紡織製品が 3.2%上昇した。衣料は前年比 1.2%上昇し、2年連続で前年を上回った。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2007=100、%)

業種	2010	2011	2012	2013	2014	前年比
鉱工業	90.6	93.6	97.1	99.9	104.0	4.1
紡織工業	74.4	74.0	74.5	73.4	74.5	1.6
糸・縫糸	69.6	64.3	61.8	59.1
生地	81.0	80.6	81.6	81.2	83.1	2.3
染色加工	76.2	75.9	78.0	75.3	75.6	0.4
紡織製品	70.4	71.1	71.3	70.7	71.8	1.6
紡織インテリア製品	59.1	61.1	60.7	61.4	61.5	0.1
カーペット等	55.7	59.2	58.3	60.0	59.3	-1.2
その他紡織製品	88.4	87.0	88.3	85.6	88.4	3.2
衣料	54.3	51.1	49.2	50.5	51.1	1.2

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2014年の繊維製品輸入は前年比 2.6%増の 1,075 億ドルと、これまで最大だった前年(1,047 億ドル)を上回り、史上最高となった。仕出地別にみると、全体の 4割を占める中国は 0.3%増とほぼ横ばいであったが、第 2位の仕出国であるベトナムが 13.5%増と大幅増、インドも 6.6%増と増加した。一方、インドネシアは 3.2%減、バングラデシュは 2.0%減といずれも減少した。

衣類輸入は 2.5%増の 818 億ドル。最大仕出国の中国は前年比横ばいだが、ベトナムが 14.1%増と大幅に増加した。バングラデシュ(2.3%減)、インドネシア(2.9%減)はいずれも減少した。近隣国のメキシコは 1.4%増となった。中国の衣料輸入全体に占める割合は 36.4%と、前年の 37.3%から 0.9ポイント低下した。

繊維製品輸入実績

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2013年	2014年	前年比(%)	仕出地	2013年	2014年	前年比(%)
中国	41,675	41,820	0.3	中国	29,783	29,794	0.0
ベトナム	8,772	9,955	13.5	ベトナム	8,126	9,269	14.1
インド	6,299	6,717	6.6	バングラデシュ	4,948	4,834	-2.3
インドネシア	5,230	5,065	-3.2	インドネシア	4,975	4,833	-2.9
バングラデシュ	5,105	5,005	-2.0	メキシコ	3,682	3,732	1.4
世界	104,725	107,460	2.6	世界	79,797	81,781	2.5

(出所) 米商務省

11) 欧州

・概況

2014年の欧州の合繊生産は産資用フィラメントがナイロン、ポリエステルいずれも2%前後増加した。

域内の生産活動は、紡織工業が前年比2.6%上昇したのに対し、衣料工業は1.7%低下した。

EU28の繊維製品輸入(域外輸入)は前年比8.5%増の1,050億ユーロと大幅に増加した。低コスト国のバングラデシュ、ベトナム、カンボジアが2桁増となったほか、多くの仕出国・地域が増加した。

・合繊生産

合繊生産は、産資用ナイロンFが前年比2.1%増の11.1万ト、同じく産資用ポリエステルFが1.9%増の13.3万トと産資用フィラメントがいずれも前年比2%前後増加したものの、2011年の水準には達しておらず、依然回復途上にある。紡織用ポリエステルFは0.4%減の23.4万ト。ポリエステルSは2.1%減の66.3万トと2年連続で減少した。

主要合繊の生産高

	(1000ト、%)				
	2011	2012	2013	2014	前年比
産資用ナイロンF	118.0	105.4	108.6	110.8	2.1
紡織用ポリエステルF	273.7	218.2	235.1	234.2	-0.4
産資用ポリエステルF*	150.5	128.7	130.4	132.9	1.9
ポリエステルS*	645.7	684.4	677.0	662.9	-2.1
アクリルS	563.1	566.9

(出所) CIRFS

(注)その他の品種は未発表。*ベラルーシを含む。

・紡織・衣料生産

2014年のEU28の紡織工業の生産指数は前年比2.6%上昇した。国別で見ると、ドイツ、フランス、イタリアは上昇したものの、英国は4.7%下落した。

衣料工業の生産指数はEU28全体が1.7%の低下。イタリアが前年比1.8%低下と低下基調が継続しており、2010年比で約4分の3の規模に縮小している。

紡織・衣料工業の生産指数の推移

	(2010=100、%)							
	紡織工業				衣料工業			
	2012	2013	2014	前年比	2012	2013	2014	前年比
EU28	92.8	92.9	95.3	2.6	90.9	87.4	85.9	-1.7
ドイツ	93.9	93.7	95.9	2.3	89.5	87.1	91.7	5.3
フランス	96.5	98.3	99.8	1.6	100.1	91.3	91.9	0.6
イタリア	86.3	86.2	88.8	3.0	85.8	76.9	75.5	-1.8
英国	91.5	87.8	83.7	-4.7	104.0	94.3	94.9	0.6

(出所) Eurostat

・輸 入

2014年のEU28の繊維製品輸入（域外輸入）は、前年比8.5%増の1,050億ユーロであった。

仕出地別にみると、主要仕出国の中国が7.5%増の392億ユーロであったほか、バングラデシュが12.2%増の114億ユーロ、ASEANが13.2%増の93億ユーロと大幅に増加した。ASEANの中では低コスト国のベトナム（21.4%増、26億ユーロ）やカンボジア（26.2%増、22億ユーロ）の増加が顕著で、インドネシアやタイの増加幅を大きく上回った。その他の仕出国の多くも増加しており、最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は2013年の37.7%から37.4%に低下した。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2012	2013	2014	前年比
世界計	96,584	96,700	104,959	8.5
中国	37,795	36,503	39,238	7.5
トルコ	12,817	13,189	13,914	5.5
バングラデシュ	9,254	10,176	11,420	12.2
ASEAN	8,086	8,199	9,278	13.2
ベトナム	2,125	2,171	2,637	21.4
カンボジア	1,474	1,777	2,243	26.2
インドネシア	1,786	1,688	1,725	2.2
タイ	1,160	1,039	1,077	3.7
マレーシア	1,022	1,038	978	-5.8
インド	6,914	7,009	7,660	9.3
モロッコ	2,373	2,287	2,509	9.7
チュニジア	2,435	2,348	2,369	0.9
米国	1,654	1,640	1,661	1.2
スイス	1,426	1,423	1,536	7.9
韓国	1,089	1,106	1,193	7.8
エジプト	820	831	887	6.7
日本	733	665	677	1.7

(出所) Eurostat

合繊4品種需要実績

(2014年10～12月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2014年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,445	98.6	97.7
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,116	96.5	96.7
	計	63,561 (31,653)	97.1 (94.2)	97.0 (105.1)
輸出 (原糸、加工糸)		1,913	97.1	115.5
需要計		65,474	97.1	97.4
在庫		11,520	95.8	90.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2014年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,858	107.7	109.9
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	33,261	100.4	102.0
	計 (輸入)	38,121 (8,082)	104.3 (100.5)	106.0 (119.1)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		3,942	124.3	72.1
需要計		42,063	105.9	101.5
在庫		21,460	108.8	109.6

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2014年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,075	99.8	92.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	14,894	92.4	96.5
	計	23,969 (7,404)	95.1 (87.9)	94.9 (105.2)
輸出 (原糸、加工糸)		6,856	90.8	111.7
需要計		30,825	94.1	98.2
在庫		9,972	100.9	106.4

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2014年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	3,651	104.3	73.2
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,690	92.6	94.7
	計	5,341 (134)	100.3 (92.4)	78.8 (32.6)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		27,391	85.7	94.1
需要計		32,732	87.8	91.2
在庫		12,363	100.9	133.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量